

学術事業報告

学発番号: 学13-059

研修会 第15回京都CDEの会 講習会

日時: 2014年2月22日(土) 14:00 ~ 17:30

場所: 京都勧業館 みやこめっせ

主題1: 「1型糖尿病の患者さんのセルフマネジメントを支えるチーム医療について」

講師1: 愛生会山科病院 糖尿病内科 部長 神内 謙至 先生

主題2: 「症例検討 小児・若年者の糖尿病 あなたならどうサポートしますか」

オブザーバー: 愛生会山科病院 糖尿病内科 部長 神内 謙至 先生

共催: 京都CDEの会、テルモ株式会社、京都府臨床検査技師会

参加数: 総数 51人(うち京臨技会員6名)

報告者: 青山絹子(第二岡本総合病院)

以下、講演内容など

京都CDEの会は、糖尿病療養指導に携わる看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師などを対象に年2回講習会を開催しています。「もしも1型糖尿病患者さんの指導担当になったら～1型糖尿病の基礎から支援まで～」のテーマで行われました。日常診療や指導においてその多くが2型糖尿病であり、1型糖尿病に苦手意識を持つスタッフも多いと思います。1部の講演では愛生会山科病院の神内先生に、1型糖尿病の病態と自己管理法に加え、チームでどのように支援すればいいのかお話を頂きました。2部では、1型糖尿病患者さんが遭遇する悩みを織り込んだ症例を提示し、私達はどのようにサポートしたらいいのかをグループディスカッションしました。1型糖尿病患者さんに共通した特有の心理や悩みがあります。その悩みは、入学や進学時、就職時、結婚と妊娠などの人生の大きな節目だけでなく、たとえば学校生活の中では給食、遠足、体育、クラブ、おやつなど小さなイベントにおいても1型糖尿病が故の悩みがあります。一生においてこのような障害は幾度となく訪れ、本人が乗り越えるしかないということ。小さい頃からその経験をさせることで大きな障害にも立ち向かって行けるとの話でした。また、1型糖尿病患者の就職は非常に厳しいのが現実であるとの話が衝撃的でした。神内先生は1型糖尿病患者の患者会にも所属し活動されており、1型糖尿病患者への思いが強く伝わり多くを考えさせられました。私達スタッフは患者さんの心情を理解し、また実社会での厳しい現実を踏まえたサポートが必要と思います。そして糖尿病チーム医療はいろんな職種が患者さんと向き合うのではなく、患者さまと共に同じ方向へ進むべきと思いました。